

ニキビの改善と共に心身ともに 健康になったケース

大阪 順子

日本ホメオパシーセンター静岡島田

JPHMA認定ホメオパスNo. 1034

ZENメソッド習得No. 0470



症状



クライアント 20代 女性

- ・中学2年生の頃からできるようになったニキビ
- ・学校があると胃が痛くなり便がゆるくなる。
学校での出来事で気になることがあると何度も
思い出す。発言した内容が
大丈夫だったかと気になる



タイムライン



- 11歳 初潮 一度出血したきり生理が来ず
高校生まで生理不順が続く。
- 12歳 学校の先生との軋轢で動悸・めまいが
出るようになり不登校に。
これ以降人間関係で難しい時期が続く。
- 13歳 海外に留学。ニキビができるようになる。
- 14歳 体重増加に対する不安が高まり、
1日1食にするなど摂食障害気味になる。



タイムライン



- 19歳 ニキビ改善のため1年間ピルを服用。
生理が普通にくるようになった。
- 20歳 大学入学
学校に行くことを考えると胃が痛くなり
下痢をする。
- 21歳 ホメオパシーによる治療を開始。



相談前までのニキビの経過



中1 おでこに白にきびがで始める。

中2 鼻に面疔がいくつもできるようになる。

17歳 にきび専門の皮膚科に通院する。
炎症の強い赤ニキビや膿を含んだ
黄ニキビがTゾーンに繰り返してできる。

18歳 体にニキビがで始める。

21歳 Tゾーン、あご、体を中心にニキビができる。
ホメオパシーの相談を受ける。鼻のニキビは
改善したが、あごと眉周りのニキビが悪化。
炎症の強いニキビが多発する。



ニキビの特徴



- ・膿が溜まる
- ・炎症で赤くなる
- ・痒みもあり、痛みもある
- ・脂っこいものを食べた時に悪化
- ・排卵期が近くなると特に悪化
- ・環境が変わることへの不安から悪化



レメディー選択の根拠



1495# 3. 全般 - 発疹 - 化膿した

2038# 4. 基調 - 状態および状況から - 月経
- 前

1468# 3. 全般 - 発疹 - 痒み

779# 3. 全般 - 精神 - 不安：

1792# 4. 基調 - 飲食物から - 脂肪(脂の多い
食物)

これらのルーブリックに、
相談会時の症状を加えてTBRを引いた



レメディーの選択



朝 Ars. Sulph. Merc. Sil など

昼 Nit-ac. Vaio. Vaic. Syph. Psor. など

夜 Sep. Puls. Lyc. Staph. など

随時

液) サポート皮膚 + Pitu-gl. + Hypoth. + Pineal.

液) サポート肝臓 + Kali-s. + Pyrog. + Hep.

液) サポート卵巣 + Yamag-w + Kali-s
+ Nat-s + Kali-p など



レメディー摂取後のニキビの経過



硬めのニキビが常時できているが、大きくなる回数が減った
あごのニキビの症状が悪化

ニキビの数が減り、1週間のうちにできたり治ったりを繰り返す
少し落ち着くと再発するが、治るまでの時間が早くなった

新しいレメディーをとったら症状の出方が強くなった。
ニキビが酷くなる前の状態に戻った感がある。

症状が出るときと落ち着いているときと差があるが、
治りやすくなった。



レメディー摂取後の精神面の経過



自分が発言したことに対し、いろいろ考えてしまう事については少し改善

慣れないことも多くストレスを感じていたが、長く引きずらず、普通になっていった

自己否定が強い。

海外での生活から他者との関わりの難しさを感じているが何度も同じことが起きていると思う

ゼミに行くのに緊張することが減った
大変だった時期のトラウマが減ってきたので
楽になっている



結果（クライアント様からの感想）



大学1, 2年生の頃に比べると、新学期に対するストレスがなく、お腹をくだすことが減った。

ニキビはだいぶ良くなり、心身ともに健康な生活を送っている。



考察



「自分が変わらないと治っていかない。それを後押ししてくれるのがレメディーだと思った。」と感想をもらった。

また相談会を重ねる中で、「ニキビができてあまり気にならなくなった」という言葉を何度か聞いた。

この精神面での変化は症状の改善に大きく影響したと思う。



ご清聴ありがとうございました。

日本ホメオパシーセンター静岡島田

<https://ameblo.jp/strawberrymoonjosaka/>

<https://www.r-homoeopathy.com/>

